

第4章

結論

4.1. 結論

この研究の結果の考察に基づいて、高齢者数の増加とし、平均余命の長さを増加させることを、結論付けることができ、この時点では、家族や親戚の責任であるために使用する高齢者の世話をする責任は、すべての当事者の責任である。社会と政府は、ハンドルに参加した。

第二次世界大戦の終了後、日本人の平均寿命増大に伴い、日本における高齢者の数は大幅に増加している。Elsi において、2000年の日本経済広報センターが発表したデータによると、2000年から2010年にかけて、男性の平均寿命は76.8歳で、女性86.9歳である。2000年に65歳以上の高齢者人口は、人口の数は17.2%だった。また、日本の家族の構造の変化なので、核家族への家家族の構造から、高齢の両親のメンテナンスとケアに問題を引き起こす。しかし、インドネシアにおける、人民福祉調整省の事務局によると、2010年にインドネシアでの高齢者の人口は23.9万人、平均寿命は70.6歳に達した。インドネシアの高齢者のほとんどは、潜在的な高齢者ではないので、そのためには、期待通りに、高齢者の生活は理想からほど遠い見ることができる。

すべての人の生活の中で主要な要素の一つとして、健康はすべての人間の活動に非常に協力的である。国民の生活の中で健康開発は、特に人材に、非常に大きな投資価値である。健康を維持し、人口では、国家はより最適な開発に人材を持つことになる。国の健康融資条件が大幅にすべての市民のための健康保険の提供における国家の能力に影響を与える。

しかし、予想外に来ていくつかのものがあるが、あることを確実に、それは病気である。我々は、妊娠可能年齢、十分な収入のあるときに痛みが来ることができるので、それはまだ治療費に到達することができる。収益が収入

を拒否またはなることを始めると、私たちが古いときには痛みにも来ることができる。このような状況では、公的医療保険のリスクを低減することは民間資金の健康の費用をカバーする。保険で、量を予測することが困難となっているコストを低減することができる。参加者が一定量の保険料を払っているので、そのためには、健康保険の形で保証を必要としている。

インドネシアでは、国立社会保障制度（SJSN）は2004年の法律第40の任務の一つにある。SJSNは、保証された品質の保健サービスへのアクセスを得るために、すべての住民に健康保険を提供する責任がある州の健康保険である。健康保険では十分ではない。社会健康保険や国民健康保険（JKN）が必要である。このJKNのは、このような手頃な保険料で包括的利益を提供する、などのいくつかの利点を提供し、JKNは、参加者が合理的なコストと制御に十分な品質のサービスを得ることができることを意味コストと品質制御の原理を適用し、そしてJKNは、持続可能性、持続可能なヘルスケアの資金調達の実確性を確保することであることを確認、JKNも移植性であるため、インドネシアのすべての地域で使用することができる。そのため、すべての市民を保護するために、JKNの参加は必須である。

しかし、JKNインドネシアの実施は段階的に行われているメンバーシップを持つ、2014年1月1日に開始である。第一段階は、2014年1月1日に開始し、第二段階は、遅くとも2019年1月1日より参加者BPJS保健など入力されていない全人口が含まれている。このように、JKNプログラムの前に、インドネシアの高齢者の福祉を向上させるための努力は、政府の規制に制限されていた。すべての市民のための健康保険を提供する上ではるかに政府のコミットメントは、特に高齢者人口のために、と低く評価することができる数字とパーセンテージの観点から年々増加している。インドネシアの高齢者のほとんどは、潜在的な高齢者ではないので、そのためには、期待通りに、高齢者の生活は理想からほど遠い見ることができる。これまでに繁栄し、高齢者の作成にインドネシア政府の努力だけで社会奉仕プログラムの開発を通じ

て実施することができる。そして皮肉なことに、もう一度、事実は、物理的および非物理の両方の保護だけでなく、社会サービスへのアクセスを得ることはありません多くの高齢の人々がいることに変わりはない (Petunjuk Teknis Pelaksanaan Pelayanan Home Care, 2007: 17)。状態は立法を通じて設定しているのに対し、高齢者のためのヘルスケアは、健康保険の最大に関して行われていない。インドネシアの経済学者によると、不良による財政状態に、インドネシア政府を作ることは、高齢者の福祉に対処が遅い。このため、政府は、国の社会保障制度の適用を遅らせるために続けている。

日本でのに対して、世界最長年齢人口を持つ国として、高齢者が重要な課題となっている問題である。産業社会への農耕社会の生活の中での変化は、日本でも家族構成の変化に影響を与える。ここに家族構成の変化は、**核家族**構造への**家家族**の構造の変化。家族構成の変化の動態は高齢者介護のパターンの変化をもたらした。グローバル化と都市化と工業化の過程で、家庭環境で、高齢者の世話を異なる認識結果として社会の中で社会的価値の変化をもたらしている。

高齢者数の増加と平均余命の長さを増加させ、高齢者の福祉は、すべての当事者の責任である。家族、地域社会、政府のすべての共有の責任である。健康とすべての市民の健康を確保するために、日本政府の努力には差別はない。1947年に日本の第25条の州憲法に定める介護に対処するための努力を含む。日本政府のほかにも、高齢者の健康と福祉を実現するために、いくつかの政策を発表した。高齢者の生活を中心に発生した社会的変化によって動機付けられている1963年に設立され、**老人福祉法**が存在し、その後、1982年にも処方されている治療法を提供することに関連**老人保健法**を形成した。また1989年に厚生省は、高齢者在宅介護サービスの向上を目的とした**プランゴールド**として知ら**高齢者保健福祉推進10ヵ年戦略**を発行した。健康保険が示す他のポリシーである。健康保険の提供の面では、日本が良い例である。日本では、医療・ヘルスケアの費用は無料ではない。人々が治療中に、総コ

ストの約 30%を支払わなければならない、残りは保険で支払われる。この健康保険制度は、日本に住むすべての住民のために必須であるプログラムである。この健康保険制度は、1922 年から施行された。日本政府はすでに、生産年齢人口は、日本政府によって設計された健康保険に入ることを義務とする。日本の健康保険は、大きく 2 種類に分け、すなわち、会社が管理従業員のための健康保険と国民健康保険は、各地区、市町村や郡のライブで投与される。法律により、日本に居住するすべての人は、これらの保険会社の一つに入らなければならない。

日本政府は、高齢者の福祉と非常に懸念している。規制は本当によく実行し、完全なコミットメントを持つ事前定義。法律だけでなく、高齢者のための公共サービスの様々な社会サービスと充実の施設の形で社会保障制度もうまくいっている。

日本はすでに社会サービスと高齢者のための健康保険制度を持っている場合には、非常に完全であり、その後、インドネシアは国家社会保障制度 (SJSN) に法律第 2004 分の 40 を実現するために適切なフォームを追求する。つまり、インドネシアで JPKM として知られているだけで健康管理システムを存在していた。しかし、すべてのインドネシアの人口のは、JPKM に参加しない。最終的になるまで JKN 2014 年 1 月 1 日を実行開始した新しいプログラムがある。

4.2. 今後の課題

本研究はまだ色々な面で制限されている。したがって、データは 2010 年のデータへの参照としてそのまま維持される必要がある。さらに重要なのは高齢者福祉における政府のフォローアップである。特にインドネシア政府のために、高齢者のための社会保障制度を検討し、評価するために継続すべきである。

参考文献

- BAPPENAS RI. 2009 “ *Laporan Perkembangan Pencapaian Tujuan Pembangunan Millenium Indonesia* “. Penerbit BAPPENAS RI, Jakarta.
- Departemen Kesehatan RI. 2008 *Profil Kesehatan Indonesia*. Jakarta: Departemen Kesehatan RI.
- Elsy, Putri. 2012 *Dinamika Lansia di Jepang*. Depok : Iluni KWJ Press Kampus Universitas Indonesia.
- Himpunan Peraturan Perundang-undangan. 2013 *Jaminan Kesehatan*. Bandung : CV. Nuansa Aulia Anggota IKAPI.
- Kedutaan Besar Jepang Jakarta. 1985 *Jepang Sebuah Pedoman Saku*. Foreign Press Center Japan.
- Kompas. “*Senja Kehidupan Berlabuh di Margaguna.*” 26 April 2012, hlm. 15.
- Lumbantobing. 1997 *Kecerdasan pada Usia Lanjut dan Demensia*. Jakarta : Fakultas Kedokteran Universitas Indonesia.
- Nipponia. Juni 2004 *Choujuu No Kuni,Nippon* : “ Nihonjin wa naze choujuu na no ka: Kourei shakai ni mukau nihon no genjou to kadai. “
- Rianto,Adi. 1999 “*Kelompok Usia Lanjut*” dalam *Bunga Rampai Sosiologi Keluarga*. Editor T.O Ihromi. Jakarta: Yayasan Obor Indonesia.
- Soekanto, Soerjono. 2003 *Sosiologi Suatu Pengantar*. Jakarta: PT. Raja Grafindo Persada.
- The Japan Time. 1994 *Nihon Wo Hanasou* : “ Aspect of japanese society.”
- www.artikelinformasi.com/keunikan-program-asuransi-kesehatan-jepang/ , diakses pada 23 Nopember 2013.
- www.bappenas.go.id, *Perkembangan Penduduk Lansia di Indonesia*, diakses pada 23 Nopember 2013.
- www.bps.go.id, *Indonesia Dalam Angka*, diakses pada 23 Nopember 2013.
- www.budayajepang.wordpress.com, *Perawatan Lansia Di Jepang: Catatan Pengalaman, Pengamatan Dan Pembelajaran*, diakses pada 10 Januari 2014.
- www.cao.go.jp/shoushi/whitepaper/html, *Saikin No Nihon No Heikin Jumyou*, diakses pada 30 Desember 2013.

www.datastatistik-indonesia.com , diakses pada 4 Oktober 2013.

www.depkes.go.id, *Buku Pegangan Sosialisasi Jaminan Kesehatan Nasional (JKN) Dalam Sistem Jaminan Sosial Nasional*, diakses pada 11 Nopember 2013.

www.depsos.go.id, *Profil Lansia Indonesia*, diakses pada 23 September 2013.

www.govonline.go.jp , diakses pada 25 September 2013.

www.historicaldocument.com, *Sejarah Asuransi Sosial di Indonesia*, diakses pada 11 Nopember 2013.

www.jamsosindonesia.com, *Jaminan Kesehatan Dalam Sistem Jaminan Sosial Nasional Indonesia Di Masa Mendatang*, diakses pada 5 Januari 2014.

www.kompas.com, *Kebijakan Pemerintah Dalam Pembinaan Lansia*, diakses pada 4 Nopember 2013.

www.menkokesra.go.id, *Lansia Indonesia; Sebuah Tinjauan Demografi*, diakses pada 23 Nopember 2013.

www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/jinkou/suikei09/index.html, diakses pada 29 Desember 2013

www.nenkin.go.jp/agreement/index.htmlhttp, *Kokumin Nenkin Seido (Indonesiago)*, diakses pada 8 Januari 2014

www.nikkeibp.co.jp, diakses pada 25 September 2013.

www.park1.aeonnet.ne.jp/kenkou-hoken/rekishu , diakses pada 10 Januari 2014

www.rri.co.id , diakses pada 10 Januari 2014

www.sehat.wordpress.com, *Rahasia Sehat Bangsa Jepang*, diakses pada 11 Agustus 2013.

www.theeconomist_goverment.com , diakses pada 4 Nopember 2013.

追加

日本の高齢者の追加



nus.edu.sg

Pendayagunaan potensi lansia



Day Care Untuk Lansia



**Data Kementerian Umum Jepang (Soumushou) tahun 2010,
jumlah penduduk lansia (berumur 65 tahun keatas) mencapai sekitar 29 juta**

Indonesiaの高齢者の追加



Seorang lansia menerima bantuan langsung tunai (BLT)



Upaya masyarakat turut mensejahterakan kehidupan lansia



2.8 juta lansia terlantar dan hidup miskin